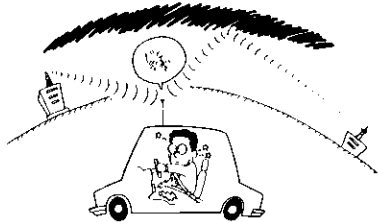


カー・オーディオの上手な使い方

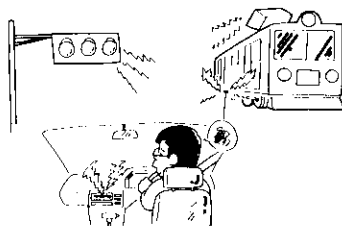
カー・ラジオの受信は、アンテナの位置が刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最適な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例をAM、FM放送別に以下に説明します。

AM放送

1 電波の特性上、放送電波が上空(電離層)で反射し干渉することがあります。このため受信状態が不安定になり雑音がいったり、混信する場合があります。

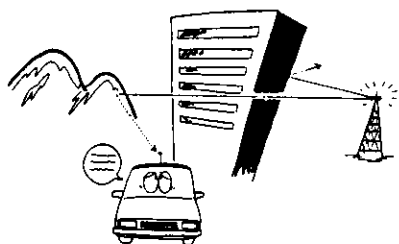


2 電車や信号機の近くを走行すると雑音が多い場合があります。



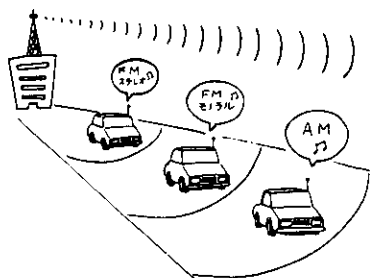
FM放送

電波の特性上、建物や山などが障害物となり、受信状態が悪くなって雑音が多いやすくなります。



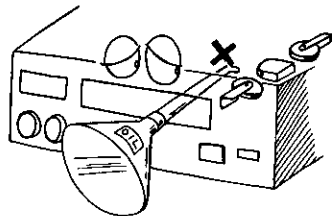
良好な受信ができる範囲

放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。



カセット・ステレオを長持ちさせるには

注油していませんか？

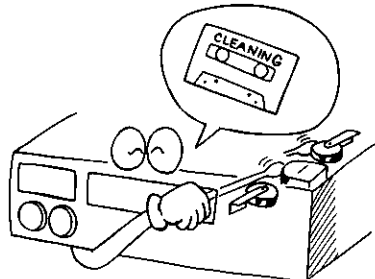


カセット・ステレオには油類を絶対に注油しないでください。故障の原因となります。

いれていませんか？

カセット・テープ差し込み口には、ドライバーなどの金属や磁石などを絶対にいれないでください。

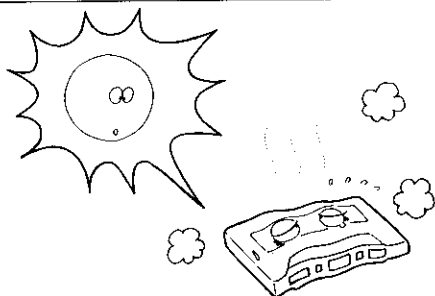
よごれていませんか？



ヘッド周辺部(ヘッド、キャプスタン、ピンチローラー)はよごれやすいので1カ月に1回程度は市販のクリーニング・テープなどでクリーニングしてください。

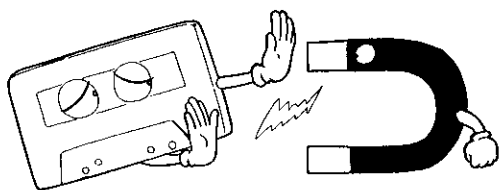
—カセット・テープを長持ちさせるには—

置いていませんか？

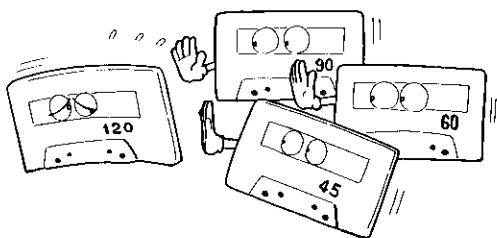


カセット・テープを直射日光の当たるところ、またはほこりのつきやすいところに置かないでください。必ずカセット・ケースに入れてこれらの場所をさけて保存してください。

カセット・テープを磁気のあるものの近くに置くと音質が悪くなります。

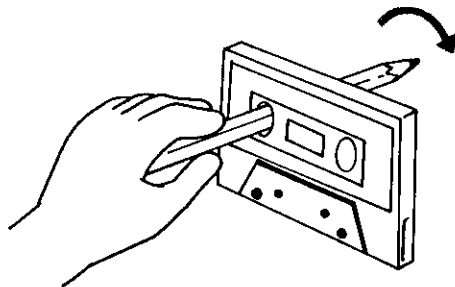


使っていませんか？



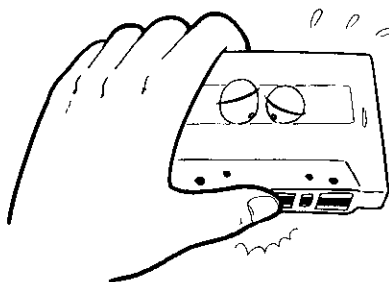
120分テープは、60分、90分テープに比べてテープが非常に薄いため夏期の車室内等の熱によりテープが伸びて、演奏時、音がひずむ場合がありますので使用をさけてください。また、60分、90分テープでも粗悪品を使用すると同じ現象があらわれます。

テープがたるんでいませんか？



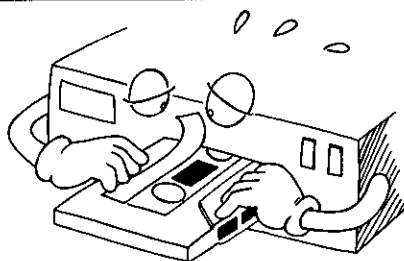
テープにたるみがあると音がひずむ場合がありますので鉛筆などで軽くたるみを取ってからご使用ください。

指が触れていませんか？



テープ面に直接触れると、テープがよごれ音が悪くなる場合がありますので必ずケースを持ってください。

はがれていませんか？



カセット・テープのラベルがはがれかけていたり、ネーム・テープの貼ってあるカセット・テープを使用すると、回転不良やカセット・テープを取り出せなくなる場合がありますので注意してください。